



なかよし苗代っ子

令和5年11月号
苗代小学校校長 広見 理恵
TEL 0761-22-1041
FAX 0761-22-1059
e-mail:nosiro-e@kec.hakusan.ed.jp

体は 食べたもので 作られる
心は 聴いた言葉で 造られる
未来は 話した言葉で 創られる



今を、未来を生きる子どもたちに対して、私たち大人が何をすべきなのかを考えさせられる、心に留まっている言葉の一つです。子どもたちの「身体」と「心」は、私たち大人が用意した食事、発した言葉、見せた姿で造られていきます。子どもたちは大人が示した価値観の中で「身体」と「心」を育み、その「身体」と「心」を基にして、自らの「未来」を自らの言葉と行動で創り上げていくのだと思います。568人の子どもたちの未来に責任をもつことが学校の役割であり、私たち大人の発する言動が子どもたちに与える影響の大きさを自問自答するために、胸に刻んできた言葉です。

そして私は今、「わが町防犯隊」「保護者」の方々の姿を見るにつけ、この言葉が思い出されます。雨の日も風の日も、子どもたちのために、道に立ち続けて下さる我が町防犯隊の皆様、保護者の皆様、通りゆく子どもたちに「おはよう」「いってらっしゃい」「元気でがんばって」と一人ひとりに声をかけて下さっている姿が、この言葉の本質なのだと日々有難く感じています。

子どもたちの心を育む言葉とは、身近にいる保護者の皆様や教員の言葉はもちろんのこと、地域の皆様にかけて下さる「おはよう」「おかえり」「いってらっしゃい」の言葉からも自分の心を造っていくのでしょうか。彼らがその言葉の本当の意味を知るのは、何十年先になるかもしれませんが、防犯隊の皆様・地域の皆様の子どもを思う姿や発する言葉は、きっと子どもたちの心を育む大切な言葉の一つになることと信じています。



わが町防犯隊の皆様、保護者の皆様、毎日本当にありがとうございます。
皆様方には、苗代っ子の安全を守って頂いているとともに、苗代っ子の心を造って頂いていることに対し、心より感謝申し上げます。



輝け!苗代っ子! ~10月11月編~



10月18日、1～5年の秋の遠足が行われました。晴天の下、どの学年も充実した遠足になったようです。どのクラス写真も子どもたちの満面の笑みがこぼれる写真になりました。



11月1日、後期児童会役員任命式が行われました。児童会執行部、各委員会委員長・副委員長・書記、学級代表がそれぞれ後期のリーダーとして、堂々と返事をし、各委員長からは、凛とした言動で、全校へのお知らせを伝えていました。



こちらにも十一月とは思えないような暖かさの中、持久走記録会が行われました。どの学年も自分で決めた目標に向かって、最後まで諦めない姿が見られました。



今年はほとんどの行事で天候に恵まれ、6年自主プランも温かな日差しのもと、安全に金沢を回ることができました。外国の方と積極的にふれあう等、どのグループも自分たちで決めたためを守り、充実した自主プランになりました。

10月31日、授業参観が行われました。どのクラスも活発な子どもたちの様子を見ていただけたのではないかと思います。その後の学校保健委員会や学級懇談会にも多数ご参加いただき、ありがとうございました。



図書ボランティアの方による読み聞かせが行われました。読んでもらった一年生は食い入るようにお話の世界に引きずり込まれ、一心に話を聞いていました。

3年生の社会科の学習で、自分の住んでいる町の歴史について学ぶため、地域の方をお呼びし、お話を伺いました。多くの方に来ていただき、またそれぞれ資料等ご準備頂いたことで、子どもたちが学びを深めることができました。本当にありがとうございました。



4年生は総合の時間に福祉体験学習として、耳の不自由な方や目の不自由な方から話を聴く学習を行いました。特に盲導犬との学習は直接盲導犬とふれあうことができ喜び姿が見られました。

